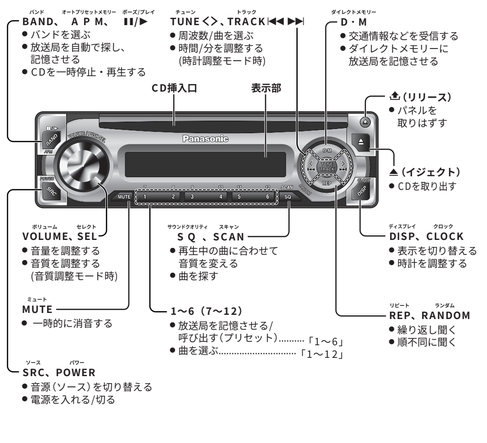
各部のなまえとはたらき



準備・基本操作

車のエンジンをかける（ACC ONでも可）

■ **電源を入れる**

を押す

● 電源が切れているときにCDを入れると電源が入り、再生が始まります。

■ **電源を切る**

を1秒以上押す

■**表示を切り替える**

を押す

● 押すごとに切り替わります。

電源が入っているとき

通常表示（例：ラジオ） 825 FM 11 ⟷ 時計 8:00 FM 11

電源が入っていないとき

時計を表示しない ⟷ 時計 8:00

時計が未調整のときは、「AdJ」と表示されます。

■**音源（ソース）を切り替える**

電源が入っているとき

を押す

● 押すごとに切り替わります。

825 FM 11 ラジオ → 0:12 1 CD（CDが入っている場合） → AU in AUX

■**音量を調整する**

回す

VOL 18

初期設定：18
調整範囲：0～40

■ **時計を調整する（時計は24時間表示）**

● 電源が入っていないときは調整できません。

❶ **を押して、時計表示に切り替える**

8:00

● 時計が未調整のときは、「AdJ」と表示されます。

❷ **を2秒以上押し、**

8:00

または で時間を調整する

8:00

❸ **を押し、**

8:00

または で分を調整する

8:15

❹ **を押す**

8:15

● 時刻が設定されます。
● 通常表示に戻り、時計が動き始めます。

■**一時的に消音する**

MUTE **を押す**

825 FM 16 MUTE 点灯

● 再度押すと、解除されます。

CDを聞く

● 通常の音楽CDおよび音楽CDの形式（CD-DA）で記録されたCD-R/RWのみ再生できます。

CDを入れる前に、DISC が点灯していないことを確認してください。シングルアダプターは使用しないでください。（8 cm CDは、アダプターなしで再生できます。）

CDを入れる

● 再生が始まります。

CDが入っているときは

を押して、CDモードにする

CDを取り出す

を押す

● CDが出てくる動作が完全に止まってから引き抜いてください。

■ **早戻し/早送りする**

または を0.5秒以上押し続ける

● 押し続けている間、早戻し/早送りされます。

■ **一時停止する（ポーズ）**

を押す

PAUSE 0:12 1 表示が点滅

● 再度押すと、解除されます

■ **順不同に聞く（ランダム）**

RAND **を2秒以上押す**

RAND 点灯 0:12

● 各曲を順不同に再生します。
● 再度2秒以上押すと、解除されます。

■ **繰り返し聞く（リピート）**

REP **を押す**

REP 点灯 0:12

● 再生中の曲を繰り返し再生します。
● 再度押すと、解除されます。

■ **曲を番号で選び再生する（ダイレクト選択）**

7 ～ 6 **を押す**

7曲目～12曲目を選ぶには

7 ～ 6 **を1秒以上押す**

● 選んだ曲から再生されます。
● 13曲以降をダイレクト選択することはできません。

■ **曲を探す（スキャン）**

SQ **を2秒以上押す**

SQ 0:12 1 再生中の曲番号が点滅

● 各曲を約10秒ずつ再生します。
● 再度2秒以上押すと、解除されます。
● 1周すると解除され、もとの曲の先頭に戻ります。

■ **曲を選ぶ**

または を押す

ラジオを聞く

● AMステレオには対応していません。

❶ **を押して、ラジオ（AM/FM）モードにする**

❷ **を押して、バンドを選ぶ**

FM1→FM2→AM1→AM2

❸ **または を押して、周波数を選ぶ**

自動選局（シーク）するには

または を0.5秒以上押してはなす

● 放送局を受信すると、止まります。

放送局を記憶させるには

バンド（FM1、FM2、AM1、AM2）ごとに、放送局を最大6局まで記憶させることができます。

■ **放送局を一つずつ記憶させる（プリセットメモリー）**

❶ **バンドと周波数を選ぶ**（☞上記）

❷ 1 ～ 6 **（プリセットボタン）を2秒以上押す**

● 表示が1回点滅し、受信している放送局が、選んだプリセットボタンに上書きされ、記憶されます。

プリセット番号6に記憶させた場合 825 FM 6 表示が1回点滅

■ **放送局を自動で探し、記憶させる（オートプリセットメモリー）**

❶ **バンドを選ぶ**（☞上記）

❷ **を2秒以上押す**

● 受信状態のよい放送局が、プリセット番号1から6まで順に上書きされ、記憶されます。

スキャン中（例） 825 FM 11 表示が点滅

終了すると

● 記憶された放送局が約5秒ずつスキャンされます。

スキャンを止めるには

1 ～ 6 （プリセットボタン）を押して放送局を選んでください。

■ **記憶された放送局を呼び出す（プリセット呼び出し）**

❶ **バンドを選ぶ**（☞上記）

❷ 1 ～ 6 **（プリセットボタン）を押す**

● 記憶されている放送局を受信します。

取り付け・配線の前に

● 安全のため必ず手袋をご使用ください。

■**作業の順序**

❶ **バッテリーの⊖端子をはずす。**

❷ **配線する。**

● **ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。**
● **他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。**

❸ **取り付ける。**

❹ **バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。**

■**取り付け部の寸法・角度の確認**

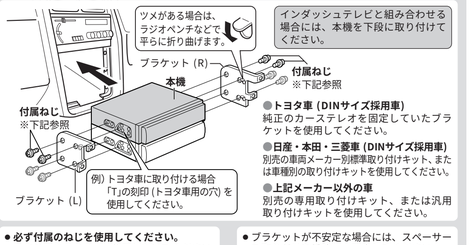
● ダッシュボードの形状や寸法によって、取り付けられない場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。
● オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、販売店に相談してください。

DINサイズ	（横180 mm×縦50 mm）
2DINサイズ	（横180 mm×縦100 mm）

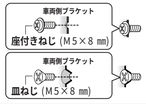
● 水平に対して、30 °以内の角度で取り付けてください。

取り付けかた

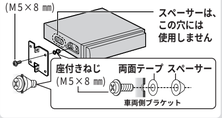
使用する取り付け金具（ブラケット）は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。



● **必ず付属のねじを使用してください。**
長さの異なるねじは、使用しないでください。
● 付属のねじは、取り付け金具（ブラケット）の穴形状に合わせて選んでください。



● ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



ディスクの取り扱い・お手入れのしかた

CD（コンパクトディスク）

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが付いているものをご使用ください。

持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。

CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。

● 回転する方向に拭かないでください。
● ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA以外のデータ（MP3やWMAなど）は、再生できません。

● CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
● CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
● CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
● クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

CDの保管について

長時間使用しないときは

● 必ず本機から取り出してください。
● ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

● 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
● 暖房器具の熱が直接あたるところ
● 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
● 腐食性のある外気にふれるところ
● 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形　三角形　カード型

ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している　プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート　ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク

そっている　ひびやキズがあるが欠けている

粗雑なディスク

バリがある

パネルのお手入れについて

パネルが汚れたときは

● 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
● ベンジン・シンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
● 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

使用しない

他の機器の音声を聞く（AUX）

準備 本機の外部音声入力コード（AUX-IN）に、他の機器（インダッシュTVなど）を接続してください。

を押して、AUXモードにする

● 本機の外部音声入力コード（AUX-IN）に接続した機器の音声が、本機に接続したスピーカーから出力されます。
● 操作のしかたは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ダイレクトメモリーを使う（D・M）

電源が切れているときでも、どのモードからでも、ボタン1つで交通情報を受信できます。（ダイレクトメモリー）
また、お好きな放送局を記憶させることもできます。**（初期設定：**AM 1620 kHz）

■ **ダイレクトメモリーに記憶された放送局を呼び出す**

を押す

● 記憶されている放送局を受信します。
● 再度押すと、もとのソースまたは電源OFFに戻ります。

DM 点灯 1620

■ **ダイレクトメモリーに放送局を記憶させる**

❶ **バンドと周波数を選ぶ**（☞ラジオを聞く）

❷ **を2秒以上押す**

● 受信している放送局がダイレクトメモリーに記憶されます。

825 FM 1 表示が1回点滅

以下の操作をすると、ダイレクトメモリーは解除され、もとのソースに戻ります。
● 電源またはACC（車のアクセサリ電源）をOFFにしたあと、再度ONにしたとき
● ソースを切り替えたとき

音質を調整する

● 手順❶のあと、約5秒間（ボリュームは約2秒間）何も操作しないと、音質調整モードが解除されます。

❶ **押して項目を選ぶ** → ❷ **回して調整する** → ❸ **を押して音質調整モードを解除する**

通常表示（例：CD） 0:12 1

				初期設定	設定範囲
音量を調整（ボリューム）	VOL 18	VOL 20	● 通常モードでも調整できます。	VOL 18	0～40
低音域のレベル調整（バス）	BAS 0	BAS 2	「+」：強調される 「−」：低減される	BAS 0	−12 dB～+12 dB（2 dBごと）
高音域のレベル調整（トレブル）	TRE 0	TRE −2	「+」：強調される 「−」：低減される	TRE 0	−12 dB～+12 dB（2 dBごと）
左右のスピーカーの音量バランスを調整（バランス）	BAL 0	BAL R 7	L（LEFT）：左側が強調される R（RIGHT）：右側が強調される	BAL 0（センター）	L/R 各15ステップ
前後のスピーカーの音量バランスを調整（フェダー）	FAd 0	FAd F 8	F（FRONT）：前方が強調される R（REAR）：後方が強調される	FAD 0（センター）	F/R 各15ステップ

■ **内蔵の音質効果を楽しむ（SQ：サウンドクオリティー）**

お聞きの音楽の種類などに応じて、お好みの音質効果を3種類から選んで楽しめます。

SQ **を押す**

● 押すごとに、効果が切り替わります。

SQ 点灯 825

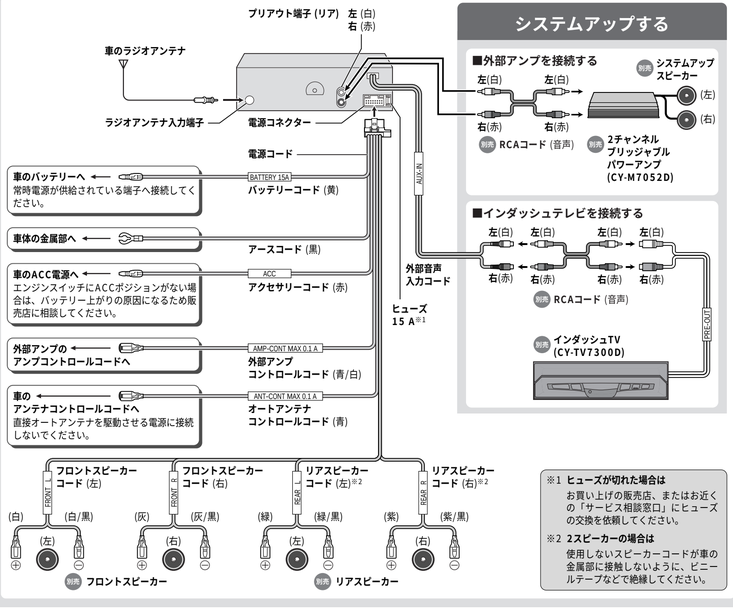
SQ-- ● 通常の音質（SQ 消灯）
↓
SQ-1 ● 低音域と高音域を大きく強調。ロック音楽などに向いています。
↓
SQ-2 ● 低音域と高音域をわずかに強調。ポップスなどに向いています。
↓
SQ-3 ● 中音域を強調し、高音域をわずかに強調。人の声などが聞きとりやすい、クリアな音です。

● プリアウト端子に接続した外部アンプの音量レベルは、フェダー（REAR）に連動します。

配線のしかた

● 別売のコネクター付きコードをご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。



※1 **ヒューズが切れた場合は**
お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。

※2 **2スピーカーの場合は**
使用しないスピーカーコードが車の金属部に接触しないように、ビニールテープなどで絶縁してください。

パネルの脱着

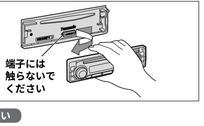
車から離れるときにパネルを取りはずすと、盗難防止に効果があります。（デタッチャブルフェイス）

● **パネルを取りはずしたままでは電源が入らず、操作できません。**

取りはずしかた

❶ **本機の電源を切る**

❷ ⏏ **（リリース）を押して、取りはずす**



お願い

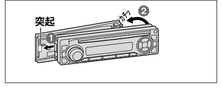
● 本体とパネルの接点（端子）には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやごみなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

取りはずしたパネルは

● 破損しないように乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。
● 衝撃を与える、落とすなどしないでください。
● 気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。
● 故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。（パネルは防水されていません。）

取り付けかた

❶ **パネルの左端を本体の突起部に差し込む**

❷ **パネルの右側をはめ込む**

● カチッと音がするまで押し込んでください。